

受付番号	平成 28年 9月 1日
/	午前 8時 40分 受領

胎内市議会議長 渡辺 俊 様

平成 28年 9月 1日

胎内市議会議員 榎本 丈雄

一般質問通告書



胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告いたします。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 子育て支援事業について	1. 少子化が進む中で、対策として「子育て家庭優待パスポート」の発行は考えられないか。	市長
	2. 「子育て支援ガイドブック」を、18歳未満の子育て家庭と妊婦さんが居る世帯に対して、無償発行をすることが出来ないか。	
	3. 各地区の公園、施設などにある、子どもたちが利用している遊具類の点検を行っているのか。 また、補修状況などについて今後の見通しは。	
2. 市役所職員の課長職採用について	1. 男女共同参画社会基本法が施行されてから17年、胎内市においては進展が見られない。 47都道府県や市町村でも女性のトップが誕生している。これからの胎内市の行政の場に女性の課長職を多く採用していく為にも、志気向上を図るべきではないのか。	市長
3. 今後の胎内市農業の進むべき道について	1. 農政改革を掲げる安倍政権は、コメの生産調整見直しで18年産から数量配分や補助金を廃止する、TPP関連対策の具体策や18年産以降のコメ政策の見直しが見えてこないが、具体案の要望は。	市長
	2. コスト軽減をどのように捉えているか、農機具資材の高騰、米価は下落、これでは後継者が育たないと思うが、打つ手があるのか。	
	3. 農業用水路、排水路の土側溝を多面的機能支払い交付金で、U字溝に入れ替え指導を出来ないか。	
	4. 中山間地の農地整備事業の、今後の取組はあるのか。 あるとすれば、いつ頃なのか。	

受付番号	平成28年 9月 5日
2	午前 9時 30分 受領



平成28年9月5日

胎内市議会議長 渡辺 俊 様

胎内市議会議員 佐藤 陽志

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 第2次胎内市総合計画について	<p>① このたび、第2次胎内市総合計画の基本構想が示された。これに対する市長の思いを伺う。</p> <p>② 基本理念の「まちの将来像を実現するための3つの基本方針」で市民協働を謳っている。第1次総合計画の中の「積極的な情報提供と市民参加型の行政」に対する市の評価は。また、市民協働への思いを伺う。</p> <p>③ 基本計画案ができた段階で、市民説明会を開催する予定としているが、いつごろになるか。</p>	市長
2 生涯学習施設の子どもの利用について	<p>① 胎内市には、昆虫の家や天文館、クレーストーン博士の館など、子どもたちの学びに寄与する施設が多くある。これらの施設について、無料化を検討できないか。また、県内の施設においては、曜日などを決めて無料にしているところもあるが、対応できないか。</p>	教育長

<p>3 市を挙げてのメディア対策について</p>	<p>① 先日、青少年育成胎内市民会議にて、「メディア漬けと子どもの危機」と題した講演会が開催された。胎内市においても何らかの対策を講じるための「プロジェクトチーム」を立ち上げてはどうか。</p>	<p>市長</p>
<p>4 米粉普及啓発について</p>	<p>① 現在、議員発議の米粉条例策定を進めている。先日わいわい会議との意見交換会を行った。その中で、拠点となる施設が必要であるとの意見を聞いた。これを含め、市として後押しすることを検討できないか伺う。</p>	<p>市長</p>



受付番号	平成28年9月5日
3	午前9時40分 受領

平成28年 9月 5日

胎内市議会議長 渡辺 俊 様

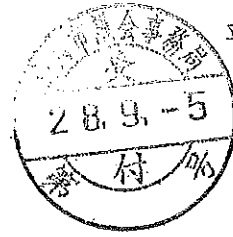
胎内市議会議員 薄田 智

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 第1次胎内市総合計画の検証と2次計画の取り組みについて	<p>①基本理念である「自然が活きる、人が輝く、交流のまち“胎内”」を掲げ10年間まちづくりを実施してきたが、その成果と検証は。</p> <p>②第2次総合計画理念が第1次と同じ内容。市長は2次計画でどんな市を目指すのか。何を最優先に取り組むのか。財政的な面は考慮されているのか。</p>	市長
2. 第2次胎内市総合計画基本構想に伴う生活基盤整備について	<p>① 都市計画道路について</p> <ul style="list-style-type: none">・都市計画道路の計画と現在の進捗状況について・コンパクトなまちづくりと地域交通の利便性向上を進め、中心部と周辺部を連結し、都市基盤の形成を図っていく具体的な計画と内容について <p>② 公共施設等を含めた社会基盤の整備について</p> <ul style="list-style-type: none">・少子高齢化、人口減少が進む中で、公共施設の存在が益々重要になっており、さらに公共施設がまちづくりの核となると予測される。今後の再編計画について・今後益々重要かつ緊急性が求められている自然災害に対する防災や避難所整備、学校や社会福祉施設等への凶悪犯罪に対する防犯の安全・安心対策について <p>③ 自然環境と都市機能が調和する魅力的なまちづくりと人づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none">・本市の貴重な財産である山・川・海の自然環境を生かした独自のまちづくり計画について・これからの胎内市を支える魅力的な人材育成や今後受け入れを進める企業誘致に伴う雇用者の定住促進を図るための計画について	市長
3. 市内の案内表示の刷新と各集落の看板設置について	<p>① 市内各施設や各集落の案内表示の形式、仕様が統一されていない。今後はデザイン等も含め、計画的な刷新を図ることで来訪者の増加や安心安全なまちづくりに繋がると考える。</p> <p>② 各集落の入り口等に集落名の看板を設置していただきたい。既存集落の維持、活性化さらには集落の連帯感の醸成には今後必要と考える。</p>	市長

受付番号	平成 28 年 9 月 5 日
4	午前 9 時 50 分 受領



平成 28 年 9 月 5 日

胎内市議会議長 渡辺 俊 様

胎内市議会議員 小野 徳 重

一 般 質 問 通 告 書

胎内市議会会議規則第 62 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
女性の視点からの防災対策について	<ol style="list-style-type: none"> 1 胎内市の防災対策の検討に当たって女性の視点を十分に反映されたものになっていると市長はお考えかどうか伺います。 2 自主防災組織の役員への女性の配置や消防団への女性の積極的加入促進が必要と思うが市長のお考えを伺います。 3 女性の視点から防災対策について専門的に検討する委員会を設置し防災対策を見直す考えはないか伺います。 	市 長
防災士認証取得者の位置づけと運用について	<ol style="list-style-type: none"> 1 現在、公費負担による防災士認証取得者は何名いるのか。また胎内市在住の方で、自費等で個人的に取得した人の数は把握しているか伺います。 2 今後も公費負担による助成を継続していくのか、また継続していくのであれば胎内市全体で何名の防災士が必要とお考えか伺います。 3 公費負担による防災士認証取得者は胎内市の防災関係事業及び災害発災時において公助とどのような形で連携していくのか伺います。 	市 長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
常備消防の施設及び車両整備について	<p>1 胎内消防署の庁舎は昭和50年3月に移転新築、黒川出張所は昭和48年3月に開設され、いずれの施設も40年以上経過し老朽化が進んでいます。また、消防車両の大型化により車庫等の庁舎は手狭な状況にあり、新たな場所へ移転新築すべきと思いますが市長のお考えを伺います。</p> <p>2 胎内消防署に現在配備されている梯子車は15m級であり、仮に4階以上の建物で災害が発生し屋上等に逃げ遅れ者が出た場合、現在の梯子車では救助不可能である。30m級に更新すべきと思いますが市長のお考えを伺います。</p>	市長
特別養護老人ホーム入所希望待機者について	<p>1 入所希望しているが、空きが無く入所できない方が多数いると聞いているが、胎内市における現状と市としての対策について伺います。</p>	市長
障害者の雇用対策について	<p>1 精神障害者保健福祉手帳を保持する方も含めて本市には障害者が何人おり、うち就業している方が何人、就業を希望していながら職に就けない方が何人いるのか、そうした実態について伺います。</p> <p>2 障害者の雇用の促進等に関する法律では国及び地方公共団体の義務として法定雇用率が2.3%と定められているが、この率に達しているかどうか、達していなければ今後の対策について伺います。</p> <p>3 障害者の法定雇用率は、地方公共団体ばかりでなく、一般事業主に対しても雇用義務が課せられています。市内各企業の雇用率の実態を把握しているのか。 また法定雇用率に達していない企業に対して市の直接責任ではないにしても、障害者を雇用するように指導することについてのお考えを伺います。</p>	市長

受付番号	平成28年9月5日
5	午前9時59分 受領

平成28年 9月 5日

胎内市議会議長 渡辺 俊 様

胎内市議会議員 渡辺 栄 六

一 般 質 問 通 告 書



胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
孫育て支援について	<ol style="list-style-type: none"> 1、孫の育児に積極的に関わる祖父母は「イクジイ・イクバア」と呼ばれ、その活躍を支援する自治体が増えているが、本市の孫育て支援の取り組みは。 2、定年延長などで高齢になっても働く祖父母も多くなっているが、祖父母の育児休暇の支援についての考えは。 3、家庭の事情などで祖父母に頼れない父母もいる。地域によっては、元気な高齢者が他人の孫の面倒をみる「たまご育て」が行なわれているが、本市の考えは。 	市 長
教育行政について	<ol style="list-style-type: none"> 1、がんに対する正しい知識を学び、命の大切さについて理解を深める「がん教育」が全国の教育現場などで活発に行なわれている。文部科学省が示している「がん教育の指導案」の内容と授業の進め方は。また、本市の小中学校での「がん教育」における現状と取り組みは。 2、「がん教育」の今後の取り組みの方向性は。 	教 育 長
観光事業について	<ol style="list-style-type: none"> 1、樽ヶ橋遊園の年間入園客目標数と、近年の入園客数の推移は。 2、メリーゴーランドや遊具、動物の檻などが老朽化しているが補修・整備計画はあるか。 3、アスレチックの整備や新たな遊具を揃え、子どもたちが一日中遊べる充実した施設にする計画はないか。 	市 長

受付番号	平成28年 9月 5日
6	午前 10時 15分 受領

平成 28 年 9 月 5 日

胎内市議会議員 渡辺 俊 様

胎内市議会議員 富樫 誠

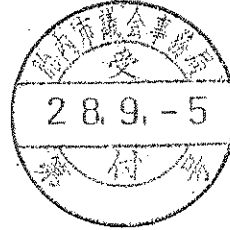


一 般 質 問 通 告 書

胎内市議会会議規則第 62 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
洋上風力発電について	<ol style="list-style-type: none"> 1) 海岸線の風車 10 基が稼働している、健康被害報告はあるのか。また調査はしているのか。 2) 洋上風車による胎内市漁業者への損失見込みの算出はできるのか、できるとすれば概算は。 3) 胎内沖に 100 基の風車が並ぶと景観が変わる、景観を規制する法律はあるのか。 4) 県の関わりは、民間事業者の事業申請を採択するか否かだと言いますが、県も胎内市とともに強く関わるべきと思うのか。また、地方創生の具体的な取り組みとして隣接の村上市が先んじて取り組んでいるが情報交換はやっているのか。 5) 恒久的な財源確保と言うが洋上風車に係る税制はどのようになっているのか、石油基地と同じか、100 基稼働時の税収の概算見込みは。 6) 地元(胎内市)負担と協力についての考え方は。 7) この事業に取り組むには、市長の考えをはっきり示した上で、市民を交えメリット・デメリットを真剣に検討すべきと思うが、その考えはあるのか。またタイムリミット(判断時期)はいつ頃と考えているのか。 8) 取り組むとなれば 10 年かかる、民間企業のやる事業ではあるが、総合計画に載せるのか。 	市長
「もったいない」から「もっと胎内へ」について	<ol style="list-style-type: none"> 1) もったいない運動でもっと胎内市を元気に、ごみの減量化、再生可能エネルギーで地球温暖化を食い止めよう、胎内市の取り組んでいる「もったいない運動」の真意とその成果をどう見ているか。 2) 行政(胎内市)が関わるリゾート経営というのは今後この姿で良いのか、合併以来 10 年の実績を示し、もったいないと言われたい為にも、専門家を交えて一度検討・検証すべきではないか。 	市長

受付番号	平成 28 年 9 月 5 日
7	午前 11 時 00 分 受領



平成 28 年 9 月 5 日

胎内市議会議長 渡辺 俊 様

胎内市議会議員 渡辺 秀敏

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1 小中学生の食育について	現在、胎内市の小中学校では、自校方式と給食センターの 2 つの方法で給食を提供しているが、どちらの方法においても栄養面・安全面への配慮は当然であるが、よりおいしいものを提供することは料理や味に対する感覚を高めるとともに、健全な心身の発達や学力の向上にとっても有効と考えます。現在、給食センターは調理を業務委託されているが、この点は充足されているのか。また、定期的に保護者等による試食会を実施できないか。	教育長
2 市指定の文化財の維持管理について	市指定の文化財につき、点検や修繕はどのように行っているのか。また付随した箇所も含まれるのか。	教育長
3 海水浴場の誘客について	海水浴客の満足度を高め、更なる誘客を図っていくうえで、食事や飲み物等を提供できる海の家が有効であることは確かです。今夏、商工会主体で 1 日限り試験的に実施したところ、予想を上回る結果だったとのこと。来年以降、海を家の開設について支援を含め取り組んでいくことができないか。また、PR 活動について伺います。	市長

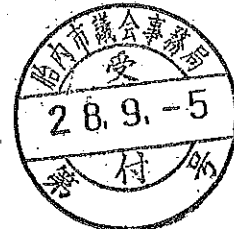
受付番号	平成28年 9月 5日
8	午前11時20分 受領

平成 28年 9月 5日

胎内市議会議長 渡辺 俊 様

胎内市議会議員 丸山孝博

一般質問通告書



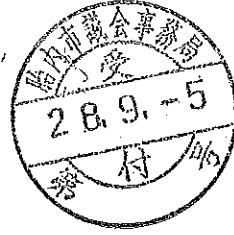
胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
介護予防・日常生活支援総合事業について	<ol style="list-style-type: none"> 訪問型サービス、通所型サービスともに、「緩和した基準による」サービスを導入する計画である。「緩和した基準によるサービス」の従業者は「資格要件なし」であるが、専門的な知識や技術は必要ないと考えているのか、その理由は。 「緩和した基準による」サービス対象者数ほどの程度と推計しているのか。 また、サービス提供は、「ある程度の専門的な知識や経験を有するボランティア団体やワンポイント的な人員派遣を行う事業所、および新たな活動団体等を想定」としているが、そうした団体や事業所ほどの程度あるのか。 緩和した基準によるサービスは、事業所報酬が従来型より1割減の計画である。別途にサービスAを行うことは、人員的にも場所的にも事業所にとって難しい実態があると思うが、認識はどうか。 胎内市独自サービスの総合事業への移行が行われるが、利用者負担はこれまでと比べてどうか。 「基本チェックリストをもとに総合事業対象者か否かを判断する」としているが、これでは、「まず基本チェックリスト」ありきとなり、保障されるべき介護認定申請のハードルが高くなりかねないが、どうか。 	市長
子ども、老人福祉等について	<ol style="list-style-type: none"> 公立保育園・こども園施設の配置等についての答申について <ol style="list-style-type: none"> 答申全体をどう受け止めているのか。 保育士等人材確保の見通しと、正規職員を増員することについて。 答申では「私立又は民間委託」とあるが、市長は「民間でなくて市立でもいい」と議会答弁しているが、この考えを貫くべきでないか。 有楽荘について <ol style="list-style-type: none"> 樽ヶ橋エリア活性化計画で「有楽荘を団体客向けの休憩施設として活用する」との計画は、どのような施設を想定しているのか。また、来年度から食堂にすることについての整合性はどうか。 これまでどおり高齢者等が憩える場を確保すべきだがどうか。 	市長

質問事項	質問の趣旨	質問の相手
新潟食料農業大学 (仮称)について	<ol style="list-style-type: none"> 1 学生・職員は、新潟キャンパスが主体で、胎内キャンパスは実習中心と思うがどうか。その場合、学生・職員が市内に住居を要することは考えにくいですが、地域経済についてどの程度と考えているのか。 2 地域の農業・食料関係産業との連携の具体的内容について 3 公的支援について、新潟県・新潟市との比較で、なぜ1億5千万円の支援なのか。見直しすることについて。 	市長

受付番号	平成 28年 9月 5日
9	午前 11 時 45 分 受領

胎内市議会議長 渡辺 俊 様



平成 28年 9月 5日

胎内市議会議員 佐藤 武志

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告いたします。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 公共交通について	1. 市内の定期路線バスは廃止になり、学生や高齢者などの通学や生活に支障になっており、現在の公共交通は「デマンドタクシー」だけの運用となっている。今後、胎内市の公共交通を見直す考えがあるのかを伺う。	市長
2. 観光地域づくりについて	1. 胎内スキー場は冬季外、有効利用されていない。スキー場は、胎内市のかけがえのない地域資源であり、価値を一層高め、より多くの観光客を呼び込むための有効活用が出来ないかを伺う。 2. きのと観光物産館を中心とした、観光客誘致の施策を伺う。	市長
3. 小型無人機「ドローン」運用及び災害対応について	1. 事件や災害などに、小型無人機「ドローン」を導入し捜索に、また、災害など未然防止のために事前調査や災害時の的確な状況を判断するためにも、今後、必ずや必要とされるものと考えているが、導入する考えがあるのか、災害の対応について伺う。	市長
4. まつり行事などについて	1. 「胎内温泉まつり」の趣旨・行事などについて、また、「中条まつり」の行事などについて伺う。	市長
5. スピードパークについて	1. Google社の衛星画像を見ると、今回、開校する仮称「新潟食糧農業大学」建設用地と接続されている訳、及び、関係などについて伺う。	市長